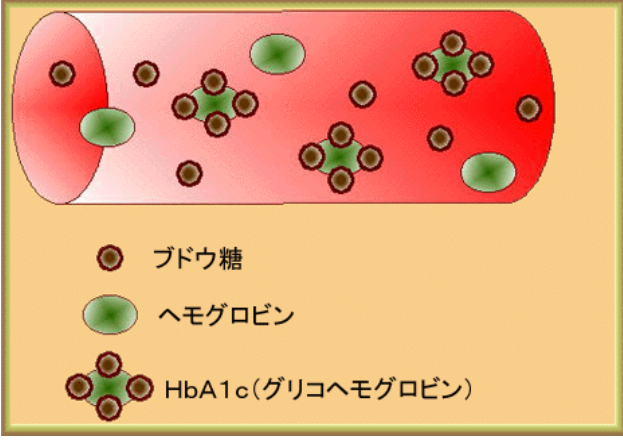


**糖尿病(とうによびょう)は「尿に糖が出る病気」なの？④**

今回のフジタガンカニュースは、前月号と同じく糖尿病についての解説です。84号のフジタガンカニュースに続いて「1~2ヶ月前からの血糖値がわかる」HbA1c(ヘモグロビンエー・ワン・シー)という検査項目についての解説の続きです。今回は北海道富良野市の内海内科クリニックさんのホームページ

<http://www.furano.ne.jp/utsumi/index.html> の文章を引用させていただきます@@@  
@@@

**HbA1c (ヘモグロビン・エイワンシー) とは**



- 高血糖状態が長期間続くと、血管内の余分なブドウ糖は体内の蛋白と結合します。この際、赤血球の蛋白であるヘモグロビン (Hb) とブドウ糖が結合したものがグリコヘモグロビンです。このグリコヘモグロビンには何種類もあり、糖尿病と密接な関係を有するものが、HbA1c (ヘモグロビン・エイワンシー) です。
- 上図は、血管内でブドウ糖がヘモグロビンに結合してグリコヘモグロビン (H b A 1 c) を形成している状況を示しています。ヘモグロビンは赤血球の中に大量に存在する蛋白で、身体の隅々まで酸素を運搬する役割を担っております。赤血球の寿命はおよそ120日(4ヶ月)といわれています。赤血球はこの間ずっと体内を巡って、血管内のブドウ糖と少しずつ結びつきます。高血糖すなわち余っている糖が多ければ多いほど結びつきが増えグリコヘモグロビン (H b A 1 c) も多くなるわけです。したがって血液中のH b A 1 c 値は、赤血球の寿命の半分くらいにあたる時期の血糖値の平均を反映します。すなわち外来で血液検査をすると、その日から1~2ヶ月前の血糖の状態を推定できることとなります。

前回号では文章での説明だけでしたので、図解が入ると理解しやすいかと思ひます。が、しかし、いづれにせよ理解が難しい内容についての説明となっていることは間違いありません。「どうもよくわからないなあ？」という風に思われる方があったら、あまり細かいことは気にせず、糖尿病の病状把握においては「HbA1c」という血液検査の項目がすごく重要なんだという事だけを覚えておいていただければ十分だと思いますので心配なさらぬように願ひします。

@@@  
前回号では文章での説明だけでしたので、図解が入ると理解しやすいかと思ひます。が、しかし、いづれにせよ理解が難しい内容についての説明となっていることは間違いありません。「どうもよくわからないなあ？」という風に思われる方があったら、あまり細かいことは気にせず、糖尿病の病状把握においては「HbA1c」という血液検査の項目がすごく重要なんだという事だけを覚えておいていただければ十分だと思いますので心配なさらぬように願ひします。

さて、ここからちょっと話題を変えて「おしこの糖分」=「尿糖(によとう)」の話をしたと思ひます。

一般的な健康診断で行われる尿検査には「尿たんぱく」「尿潜血反応」「尿糖」「尿ウロビリノーゲン」などの項目があります。尿たんぱくと尿潜血反応は主に腎臓や膀胱を、尿糖は糖尿病を、尿ウロビリノーゲンは肝機能異常の有無を調べる項目です。



検査方法は採尿した尿に試験紙を浸して、色の変化から異常を調べる定性試験が一般的で、結果は「(+ )陽性」「(- )陰性」で判定されます。陽性では含まれる量が多いほど+の数が増えて「(+ )、(++)もしくは(2+)、(+++)もしくは(3+)等と表記されます。今回のフジタガンカニュースは誌面の都合にてここまでとなります。選挙が終わり大きな台風が通過したら本格的に秋がやって来ましたねー。気温の急激な変化で体調を崩さないようご注意ください！

今年の年末年始の休診は左表の通り、11月には臨時休診がありますので下をご覧ください。では、次号をお楽しみに-(^^)/。

**H29年度年末年始休診日程**

	12/27	12/28~1/4	1/5
AM	○	×	○
PM	○	×	○
	※ ×・・・休診 ○・・・通常診療		

**今月のお知らせ**

**11月17日(金)午後**は院長が10小の就学時健診に出席するため当院は**休診**となります。また、本年度の年末年始の休診日程は左の表の通りです。ご迷惑をお掛け致しますが、宜しくお願い致します m(\_\_)m。



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC  
**藤田眼科**  
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)  
**F-Vision**

☎ **042 (645) 0575**  
☎ **042 (642) 2911**